

なでしこフリーランキング

FREE RANKING

順位	登番	選手名	総合P	
1	4123 愛知	細川 裕子	89.8	↗
2	4530 福岡	小野 生奈	88.7	↑
3	4117 東京	廣中智紗衣	85.7	↑
4	4183 愛知	宇野 弥生	84.6	↑
5	4447 福岡	深川麻奈美	83.3	↑
6	4961 福井	西橋 奈未	81.6	↓
7	4482 岡山	守屋 美穂	80.8	↘
8	4502 滋賀	遠藤 エミ	80.5	↑
9	5088 大阪	高憧 四季	78.8	↘
10	4845 埼玉	前田 紗希	78.0	↑

※ランキングは最近2か月の勝率、2連対率、ST、優出、優勝などから独自の計算法でポイント(100が最高点)を算出し決定している。

最近好調選手 ※最近2か月と最近半年を比べたもの

順位	登番	選手名	総合P	+P
1	4843	深尾 巴恵	75.1	15.9
2	4123	細川 裕子	89.8	14.3
3	5195	北村 寧々	66.2	13.8
4	4764	小池 礼乃	74.5	13.3
5	4224	大橋栄里佳	68.5	12.9
6	4117	廣中智紗衣	85.7	12.6
6	4447	深川麻奈美	83.3	12.6
8	4372	原田 佑実	71.2	12.3
9	4589	塩崎 桐加	75.9	11.9
10	4289	落合 直子	77.7	11.3

安定感の高さが売りの廣中智紗衣だが、現在はA2級として過ごしている。5月に期が替わり、下関で2コースから差して優勝すると、6月の浜名湖オールレディース、鳴門の混合戦で優出。4節(36走)しか消化していないが、7.50の勝率を記録している。5・6着が少ないのはいつものことだが、1着の多さが際立つ。A1級復帰はもちろんのことだが、レディースチャンピオンへ向けでも弾みをつけて臨むことができそうだ。この夏、廣中から目が離せない!

今後の女子戦スケジュール

7~8月	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
	唐津			福岡オールレディース					戸田ヴィーナスシリーズ					丸亀ヴィーナスシリーズ					尼崎オールレディース					浜名湖レディースチャンピオン								

レディースチャンピオンへ向けて リズム上々の細川裕子、小野生奈



小野生奈



細川裕子

5月から6月にかけての女子戦は、芦屋で小野生奈、多摩川で勝浦真帆、浜名湖で若狭奈美子、若松で堀之内紀代子、津で深川麻奈美が優勝した。

今回1位に輝いた細川裕子は、予選道中の安定感が桁違い。近況優勝は4月の津だけだが、それ以外のレースも準優勝は外さない。ただ、準優勝が鬼門になっており、5月のびわこ、常滑レディースオーリスターは1号艇で2着で優出したものの、その後の芦屋、津、若松は準優勝で敗れた。

終盤の詰め甘さが課題にはなっているが、旋回力は疑いようがない。リズムは決して悪くないだけに、相性いい浜名湖でのレディースチャンピオンでは好結果を残すのではないだろうか。

今号のインタビュにも登場している小野生奈。芦屋オールレディースでの優勝が光るが、GWなど混合戦でも強さを発揮している。こちらも大一番へ向け、準備万端だ。

11位～20位

順位	選手名	総合P
11	渡邊 優美	77.9
12	落合 直子	77.7
12	岩崎 芳美	77.7
14	實森 美祐	76.5
15	塩崎 桐加	75.9
15	平高 奈菜	75.9
17	今井 美亜	75.5
18	深尾 巴恵	75.1
19	小池 礼乃	74.5
20	川野 芽唯	73.0

年間ランキング

順位	選手名	総合P
1	守屋 美穂	93.8
2	三浦 永理	93.0
3	田口 節子	91.3
4	平高 奈菜	89.9
5	遠藤 エミ	86.6
6	寺田 千恵	84.8
7	渡邊 優美	84.2
8	浜田亜理沙	82.4
9	細川 裕子	82.2
10	實森 美祐	80.9